

## 研究指導の概要

### ■電子・物理工学サブプログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。 論文講読、輪講、ゼミを通じて博士論文テーマ設定と研究計画の策定を行う。大学院セミナーで発表を行う。
		B	
		C	
	秋	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。 論文講読、輪講、ゼミを通じて博士論文テーマの背景を理解し、目的を明確にする。それを達成するための研究計画・研究方法を策定して主体的に研究を行う。大学院セミナーで発表を行う。
		B	
		C	
2 年 次	春	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。 指導教員と密接なコミュニケーションに基づく博士論文に向けた研究の展開。形態はゼミと個別指導。セミナーではリサーチプロポーザルの発表を行う。短期・長期の海外渡航（留学など）
		B	
		C	
	秋	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。 指導教員と密接なコミュニケーションに基づく博士論文に向けた研究の展開。形態はゼミと個別指導。短期・長期の海外渡航（留学など）
		B	
		C	

## 研究指導の概要

### ■電子・物理工学サブプログラム

【課程：博士後期課程】

3 年 次	春	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。
		B	指導教員と密接なコミュニケーションに基づく博士論文に向けた研究の展開。形態はゼミと個別指導。予備審査に向けての準備（博士論文要旨の作成、学術論文誌へのオリジナル論文の投稿など）
		C	
	秋	A	電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得する。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施し、プレゼンテーションやディスカッションの能力を特に高める。
		B	指導教員と密接なコミュニケーションに基づく博士論文に向けた研究の展開。3月修了の場合、博士論文予備審査（10 - 12月）、博士論文提出（1月）、公聴会（2月）に十分間に合うよう計画を立てる。学術論文誌への投稿を並行して進める。
		C	